

1. 調査報告概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成19年8月6日

【評価実施概要】

事業所番号	2770103295
法人名	特別・特定医療法人 生長会
事業所名	ベルアモールハウス
所在地	堺市中区深井畑山町211番地 (電話)072-277-7350
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成19年6月25日

【情報提供票より】(平成19年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年5月1日		
ユニット数	4ユニット	利用定員数計	24人
職員数	16人	常勤	11人, 非常勤 5人, 常勤換算 15.1人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨ALC造り		
	3階建ての	2階	～ 3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	73,500円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) 〇			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(210,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000円			

(4) 利用者の概要(平成19年6月1日現在)

利用者人数	24名	男性	0名	女性	24名
要介護1	3名	要介護2	12名		
要介護3	6名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.4歳	最低	72歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ベルランド総合病院、西尾歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営母体が医療法人として50年の歴史を持ち、認知症の方たちのニーズに応えたグループホームとして全体で4ユニット、各ユニットに6名ずつという小規模でのケアを実践しています。管理者は長年精神科医として認知症への関わりも深く、成年後見制度にも理解を持っています。最近終末期の利用者の看取りをホームで行いました。また鍵をかけない工夫をしており、外出しようとする利用者には自由に出かけてもらい、職員はさりげなく後ろから同行しています。また、全国グループホーム大会に参加して、事例発表の機会を持っています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の指摘でお薬の情報や副作用について全職員に周知することが求められていましたが、服薬ノートをわかりやすく作成し、個人ごとに周知するように改善されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は各ユニットのリーダーが集まって協議し作成していますが、サービス評価の意義や目的を全職員で共有するために、職員全員で取り組むようにすることが求められます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議でリーダーが「全国認知症グループホーム大会」に参加発表し、有益な情報を事業所に持ち帰り職員間で情報を共有しホームのケアに活かしていることを報告しています。また4月からは週1回家族との昼食会を実施していることや、今後地域のボランティア活動への参加を推進していきたいこと等について報告しています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関脇に意見箱を設置し、ペンや用紙も用意しています。家族には職員がために声かけして、苦情や意見、希望を聞くようにしています。詰所会ではその意見や提案を取り入れて意見交換をし、今年度は更に家族の意見を聞く機会を持ちたいとの意味を込めて家族との昼食会を実施しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域と共に支えるケアを実施するということで、夏祭りや盆踊り、だんじり祭りに参加し、月2回利用者と職員が施設周辺の清掃をしています。老人会の詩吟クラブを招待し、詩吟の演奏をしてもらった後に、交流会を開催しています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者は「地域と家族様と共に支えるケアを実施します」「パートナーの尊厳を守ります」をホームの理念として、運営上の方針に具体化し実施しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員が理念を理解しているかについて、全体会議や日々の話し合いの中でも確認しあっています。また、新人採用の時にも意識づけています。理念は日ごろから職員の目に付くところに掲示しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域の盆踊りや夏祭りに参加したり、周辺の道路清掃を利用者と職員で行っています。また地区のボランティアを受け入れて縫い物や詩吟、お花を生ける等を行っています。買物へ出かけた際は、店員とも顔見知りになり、買物の助言を受けることがあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員で共有し、外部評価の結果は会議の場で確認しています。 自己評価はユニットリーダー4人にて作成して全職員に伝えています。	○	サービス評価の意義や目的を全職員で共有するために、職員全員で自己評価に取り組むようにすることが求められます。
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の規定、規約を作成しています。また、会議録で出席者が確認でき、会議で得た意見をサービス向上に活かせるように努めています。 また事業所の取り組みの内容や改善課題を職員間でも話し合っています。運営推進会議は2ヶ月に1回開催しています。今後も事業所を理解してもらう機会として積極的な活用が期待されます。		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは協議しながら絶えず連絡を取り合っています。今後も運営推進会議にも参加してもらうことになっています。 7月には、認知症介護実践者研修の施設実習として研修生を受け入れます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	頻繁に面会に訪れる家族への報告だけでなく電話による近況報告も行っています。発行中の季刊の施設たより以外に、6月からは月1回「ハウス便り」を発行し、グループホーム内の様子をお知らせしています。また生活場面の写真を掲載したり、新任職員や異動の職員の紹介をしています。金銭管理については定期的に家族に残高や収支を報告していますが、家族の承認を受けていません。	○	金銭の管理については定期的に出納帳を見せて説明し、日付、記名押印をもらう、また面会に来られない家族には明細のコピーを郵送することが求められます。また、定期的な便りに、担当職員が個別にコメントを書くことを検討されてはいかがでしょうか。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内で意見箱を設置し、今回は家族に向けたアンケートを実施し、家族からの要望や苦情を聞いています。寄せられた不満は職員で話し合い、一緒に考えています。 月1回ユニットごとに家族との昼食会を開催し、利用者の近況報告や気付きを話し合っています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職を最小限抑えるように努めています。また、引継ぎについてはマニュアルを作成し活かしています。新しい職員が入るときは、便りにて紹介を行っています。ホームの4つのユニット同士で、定期的に相互の職員異動をしています。認知症の利用者にとってなじみの関係は大切なことで、今後とも異動を最小限にすることが望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	併設施設と合同の年次別研修、トピックス研修に参加、また非常勤職員も外部研修に参加しています。新人研修についてはマニュアルを作成し、研修を実施しています。昨年度は外部研修に11回参加し、報告書にて確認しています。また外部研修内容を発表する機会も設けています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	昨年大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入、2箇所のグループホームと職場交換研修を実施しました。レポートにまとめ、報告書も作成し、これらをサービスの向上に活かしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	おやつの際に訪問してもらう機会を作ったり、1ヶ月のお試し期間も設置しています。利用希望者が入所している施設に職員が何度も訪問してなじみの関係を作って入居に至ったケースもあります。待機の方の自宅を訪問することもあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お米をとぐ、野菜を切る、洗濯物の取り込み、掃除、野菜の手入れ等、利用者ができることについてはそれぞれ利用者主体で行ってもらっています。利用者からも地域の地理について詳しく教えてもらったり、利用者と職員が支えあう姿勢が見られました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で声をかけ、利用者一人ひとりの思いや希望について把握に努めています。利用者の言葉や表情から読み取ったり、確認を行っています。意思疎通の困難な利用者には、ご家族や関係者から情報を得て、入居に至るまでの記述はあります。	○	利用者の生活歴は把握していますが、入居後に知り得た情報「誰に会いたいか、日々の暮らしでわかったこと、面会にて知ったこと、何気ない会話で発見したこと」等を個々の記録に書き加えて、職員間で共有することが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回のカンファレンスに医師、看護師、理学療法士、介護療法士、相談員、介護職員が参加し、その意見を参考にして、介護計画を作成しています。また、家族や職員からの意見も反映させています。今後お便りを家族に向けて発送する際に、介護計画の内容や希望について返事を頂くようにする取り組みを計画中です。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については3ヶ月ごとに見直しを行っています。目標についての日々の記録や週ごとのモニタリング、月1回の会議での話し合い、利用者の状態の変化や状況、家族や利用者の要望に応じて計画を見直しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ショートステイは空き部屋がなく実施していません。昨年より訪問看護ステーションと医療連携体制を実施しています。緊急時対応についても体制が整っています。終末期の利用者についても、家族の希望により看取りを行いました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の希望するかかりつけ医師を受診する機会を設けています。また、通院の仕方についても家族と話し合って混乱のないようにしています。夜間の医療機関との連携についても相談できる医師を確保し、体制は整っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期や重度化した場合の対応については医師や看護師、介護職員、家族と共に話し合い、意見を確認しながら方針を決定し、情報の共有も行っています。 職員間でも勉強会、評価、再検討を行い、注意深く重度化や終末期に向けた支援をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの折にプライバシーに関する意識の向上を図るよう、また日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。誇りやプライバシーには注意を払っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の日課は決まっていますが、利用者の日々の体調や希望に合わせて過ごせるように支援しています。 できるだけ個別性に配慮した支援を行っています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食と昼食についてはホームで調理しています。朝食についてはおかゆや雑炊の好きな方のために利用者と一緒に作っています。野菜の皮むきや豆のすじとり、できあがったものを盛り付ける等して、利用者の力量に応じて楽しんでいます。週に一度はメニューから考えて利用者の好きな献立にしたり、旬の素材を取り入れて楽しんでいます。おやつは利用者と一緒に買い物に出かけています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については週3回となっていますが、利用者からの希望によっては日中だけでなく夜間も要望に応えられるように努めています。また毎日入浴をされる利用者もいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	玄関まで新聞を取りに行く、屋上の野菜の水やり、金魚の世話、ごみを屋外まで捨てに行く、郵便物を運ぶ、また洗濯をする方など、生活歴等を生かした役割の支援をしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日散歩をしています。また、外気浴のため屋上や近所の畑を散策したり、草花や農作物を見て季節感を感じています。昨年より、1泊温泉旅行を実施しており、家族の参加もあります。外出については、週3回程度おやつを買いに出かけたり、車で買い物に行く等それぞれ楽しんでいます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず、自由な暮らしを支援しています。利用者が外出しそうな気配を察知したら、さりげなく後ろからついていき安全の確保に努めています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署による訓練を年2回実施し、災害対策のマニュアルも作成しています。食料や水も備えています。消火器の扱いも学習会に参加して練習しました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの栄養摂取量や水分摂取量を把握しています。また栄養バランスについては、専門家によりカロリー計算をしています。水分の不足しがちな利用者についてはチェックを行い記録しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には下駄箱があり、座って靴を脱げるベンチを配置しています。季節の花も生けられていました。 トイレ、浴室も使いやすい配慮をしており、表示もありました。 ダイルームには利用者一人できつろげる低いソファも配置しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームにはベッドと椅子、タンス、洗面所が用意されています。その他の物は、利用者が自宅から鏡台やテレビ、仏壇、家族の写真、観葉植物等なじみの物を持ち込み、居心地よく過ごされています。		